

タイトル	自立支援、重度化防止のための個別事例の検討及びケアマネジメントの資の向上
------	--------------------------------------

<b>現状と課題</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・本市の要介護認定率は国や県平均値を下回っているが、今後、要介護認定リスクの高まる後期高齢者人口が前期高齢者人口を上回ることが予測されている。</li> <li>・現在の要介護認定者の要介護度区分を県内30万人以上市と比較すると、中重度者の割合が高くなっていることから、介護状態になることの予防と併せ、自立支援、重度化防止への対策が課題となっている。</li> <li>・中重度者対策のためにも、ケアマネジャーに対する自立支援、重度化防止に向けたケアプラン作成の啓発が必要である。</li> </ul>					
<b>第7期における具体的な取組</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自立支援型地域ケア会議における個別事例の検討を通じて、ケアマネジャーに自立支援・重度化防止に資するケアマネジメント作成を促す。</li> <li>・自立支援型地域ケア会議や介護給付適正化事業のケアプラン点検等により、ケアマネジャーの資質向上を図る。</li> <li>・自立支援、重度化防止に向けたケアマネジメントの実施に係るマニュアルの作成と周知</li> </ul>					
<b>目標（事業内容、指標等）</b>					
成果指標		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
自立支援型地域ケア会議の開催（回／年）	目標	9	9	12	12
	実績	9	9	11	
<b>目標の評価方法</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 時点 <ul style="list-style-type: none"> <li>■実績評価のみ</li> </ul> </li> <li>● 評価の方法 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自立支援型地域ケア会議の開催数を計上</li> <li>・ 自立支援型地域ケア会議の参加者（事業者）数を計上</li> </ul> </li> </ul>					

## 取組と目標に対する自己評価シート

年度	令和元年度
----	-------

### 後期（実績評価）

#### ● 自立支援型地域ケア会議

- ・自立支援型地域ケア会議を11回開催 → 9地域包括支援センターを3圏域に分け、3圏域ごとに3～4回開催。

※コロナウイルス感染症の影響で、3月分は中止した。

- ・9月9日、自立支援型地域ケア会議に係る説明会「深化する自立支援型地域ケア会議に向かって」を実施し、事例経過の共有と再検討のため会議の方法や書式の見直しを説明した。10月から見直した方法で会議を実施した。

#### ● 自立支援・重度化防止に向けたケアプラン作成の啓発

- ・平成30年8月に「ケアマネジメント実施の要点」としてマニュアルを作成。

### 自己評価結果

#### ● 自立支援型地域ケア会議の開催【◎】

【参考】R1 目標：12回 R1 実績：11回

- ・毎月第3金曜日に実施。

- ・自立支援型地域ケア会議 参加事業所数

○平成30年度 139事業所

○令和元年度 137事業所

- ・会議の方法を見直し、以前より事例の状況や変化がわかりやすくなったという意見があることから「◎」とした。
- ・会議に参加できなかった事業所のために、「在宅医療・介護事業者情報検索システム」へ会議結果を掲載開始。
- ・在宅医療・介護連携の一貫で介護予防の研修会を3回実施し、144事業所から参加があった。

#### ● 自立支援・重度化防止に向けたケアプラン作成の啓発

- ・市ホームページに「ケアマネジメント実施の要点」を掲載。

### 課題と対応策

#### 【課題】

- ・令和元年度に一度も参加していない居宅介護支援事業所等があるが、自立支援・重度化防止の視点を広めるためにも参加事業所を増やしていく必要がある。
- ・10月から見直した方法で会議を実施したが、会議で用いた事例が多くのケアマネジメントのヒントになっているかを把握する必要がある。

#### 【対応策】

- ・ケアマネジメントのヒントになっているかを把握するためケアマネジャーや事業所への調査の実施（アンケート等）。
- ・会議の目的や自立支援・重度化防止の視点を各事業所へメール配信等で周知する。